

第五十二回帝國議會 院

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

(速)第六回

會議

昭和二年二月二十三日(水曜日)午前十四時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 前田 米藏君

理事 工藤十三雄君

理事 大園榮三郎君

大津淳一郎君 松井 郡治君

小島 證作君 工藤 鐵男君

石塚 三郎君 手代木隆吉君

岡本實太郎君 深井 功君

若宮 貞夫君 熊谷 巖君

大竹 謙治君 石井 三郎君

隅田 豐吉君 今井 健彦君

栗林 五朔君 兼田 秀雄君

高鳥 順作君 浦野 謙朗君

堤 清六君

出席國務大臣左ノ如シ
鐵道大臣子爵 井上匡四郎君

出席政府委員左ノ如シ

鐵道政務次官 佐竹 三吾君

鐵道參與官 古屋 慶隆君

鐵道省建設局長男爵 中村 謙一君

鐵道省工務局長 後藤 佐彦君

鐵道省經理局長 寬 正太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

○工藤(十)委員長代理 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、前回ニ引續イテ質問ノ保留シテアル方ノ質問ヲ是カラ開始致シマス

○大園委員 前回ニ書類ノ提出ヲ當局ニ御願シテ置キマシタガ、出來マシタカ

○佐竹政府委員 前回大園君ノ御質問

ニナリマシタ、越後鐵道ヲ若シ國有ニシタナラバ、旅客收入、貨物收入ガ果シテドウ云フコトニナルカ、又越後鐵道ガ現在租稅其他ノ公課ヲドレ位負擔シテ居ルカト云フヤウナ御質問ガアツタ

ノデアリマス、ソレニ付テ御答ヲ申上

グタイト思ヒマス、最近ノ營業報告書

ニ依リマス、諸稅詰リ國稅並地方

稅ヲ合セマシテ、一年ノ支出ガ五萬一

千圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレ

カラ重役賞與金ガ一萬七千二百二十

圓、重役報酬ガ五千四百圓、ソレカラ本

社員給料手當、是ハ營業課長デアルト

カ、或ハ工務課長デアルトカ、運轉課長

デアルトカ云フ、鐵道ノ方デ申シマス

ト高等官待遇ノ人ガ相當アルノデアリ

マスガ、是等ハ鐵道ガ國有ニナリマシ

タ結果、現在アリマス運輸事務所デ管

轄致シマスレバ、是等ノ經費ヲ節約ス

ルコトガ出來ルノデアリマスガ、此金

ガ一年ニ十二萬七千七百圓、之ヲ合計致

シマスルト二十萬七百二十圓、是ダケ

ハ差當リマシテ節約ノ出來ル金額ト云

ツテ宜イト思ッテ居リマス、ソレカラ旅

客貨物ノ收入ノ方ヲ申上ゲマス、旅

客ノ收入ガ十四年下半期カラ十五年上

付託議案

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件)(佐々木平次郎君外十五名提出)

半期即チ最近一箇年間ノ越後鐵道ノ實績ハ七十七萬七千三百六圓ト云フコトニナツテ居リマス、之ニ對シマシテ運賃ガドウナツテ居ルカト申シマス、認可ヲ受ケテ居リマス運賃ガ三等ニ於キマ

シテ西吉田、一ノ木戸間ガ五錢デアリマ

シテ、本線ガ三錢五厘デアリマス、ソレ

デ實際ノ平均收入ガドウ云フ風ニナツ

テ居ルカト申シマス、定期トカ割引

トカ云フモノガアリマスカラ、ソレヲ

平均シテ詰リ實際會社ト一年一哩當リ

ノ運賃ノ收入ガ三錢七厘デアリマス、

斯ウ云フコトニナツテ居リマス、然ルニ

鐵道ガ國有ニナリマスルト此運賃ガ二

錢四厘二毛ト云フコトニナルノデアリ

マス、サウ致シマスルト會社トシテハ

七十七萬七千三百六圓ノ收入デアリマ

スガ、此儘詰リ旅客ノ數量ガアルト致

シマシテ、鐵道省ノ二錢四厘二毛ノ連

賃ニ掛ケマス、是ガ五十萬八千圓ト

云フコトニナルノデアリマス、隨テ二十

七萬圓程ノ減收ニナルノデアリマス、

貨物ノ方デ見マス、貨物ノ會社ノ收

入ガ三十五萬二千二百十九圓ト云フコ

トニナツテ居リマス、三十五萬圓餘デア

リマスガ、貨物ノ賃率ガ色ミアツテ、認

同月十七日委員石塚三郎君、十九日委員井上敬之助君、橋本喜造君二十三日委員金澤安之助君、栗延敬太郎君孰レモ辭任ニ付其ノ補闕トシテ十七日橋本喜造君、十九日隅田豐吉君、石塚三郎君ニ於テ選定セリ

同月十九日大正九年法律第五十六號中改正法律案(北海道拓殖鐵道補助ニ關

カ

○佐竹政府委員 前回大園君ノ御質問

可ヲ受ケテ居リマスノハ小口扱ガ一哩二十九錢八厘、貨切扱ガ十四錢三厘、是ハ西吉田、一ノ木戸間デアリマスガ、更ニ本線ノ賃率ハ小口扱ガ十錢、貨切ガ五錢七厘、之ヲ一緒ニ平均シマスト一哩當リ一噸ガ七錢六厘ト云フコトニナツテ居リマス、七錢六厘デアリマスガ、鐵道省ノ最近ノ貨物ノ一噸一哩當リノ收入ハ幾ラカト申シマス、二錢七厘四毛デアリマス、會社ノ七錢六厘ニ對シマシテ鐵道省デハ二錢七厘四毛、サウ致シマスト三十五萬二千二百十九圓ト云フノガ國有ニナリマシタガ爲ニ十二萬五千圓ニ減收ヲ致シマス、尙ホ其他ニ雜收入ガ會社ハ四萬圓デアリマスガ、是ガ國有ニナリマシタガ爲ニ半減シテ二萬圓ニナリマスト假定致シマスレバ、越後鐵道ノ最近一年間ノ總收入ガ百十七萬圓、詳シク申セバ百十六萬九千四百五十六圓デアリマスガ、約百十七萬圓デアリマス、是ガ國有ニナリマシタガ爲ニ減收ヲシマシテ六十五萬三千圓、其差ガ五十一萬六千圓、殆ど半分ニ減ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ他ノ言葉デ申セバ、詰リ國有ニナリマシタガ爲ニ鐵道ノ收入ガ五十一萬六千圓減ル、サウシテ五十一萬六千圓ダケハ地方民ノ負擔ガ輕減サレル、ソレダケ旅客貨物ノ賃率ガ詰リ下ガルト云フコトニナルノデアリマス、是ガ地方のカラ申セバ國有ノ大ナル利益ノ一ツト考ヘテ居リマス、ソレデ六十五萬三

千圓ノ收入ニ對シテ經費ガドレ位掛ルカト申シマス、經費ハ最近ノ鐵道ノ實績ニ依リマス、總收入ノ五割五分ニテ居リマス、サウ致シマスルト其結果純益ガ約二十九萬圓、買收額ガ千三百萬圓ト假定致シマス、詰リ千二百萬圓デアリマスガ、其他ニ改良費ヲ百萬圓掛ケルトシマシテ千三百萬圓ト假定シテ計算ヲ致シマス、資本ニ對スル——詰リ買收額ニ對スル利廻リガ二分二厘三毛、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是ハ詰リ鐵道ノ是近ノ旅客貨物ノ數量ヲ其儘取ツタノデアリマスカラ、國有ニナリマスレバ今申シマシタ通りニ旅客貨物ノ賃率ト云フモノガ半減スルノデアリマスカラ、ソレダケ旅客モ亦貨物モ輸送數量ガ殖ルト斯ウ考ヘテ宜イノデアリマス、假ニソレヲ同ジ數字ニシテ計算致シマスルト、今申上ゲタヤウニ二歩二厘三毛ト云フコトニナルノデアリマス、併シ今度ハモウ少シ外ノ方面カラ之ヲ觀察致シマスルト、現在此鐵道ノ各線別ニ依ル一日一哩當リノ收入ト云フモノガ、統計ニナツテ發表サレテ居ルノデアリマスガ、ソレニ依リマスルト、信越線ハ直江津カラ南ヲ除キマシテ、一日一哩百二圓、ソレカラ輕井澤以南ヲ除キマスルト、一日一哩五十一圓デアリマス、ソレカラシテ仙臺ノ鐵道ノ管内ヲ全部平均シマス、一日一哩六十六圓ト云フコトニナツ

テ居リマス、ソレデアリマスカラ越後鐵道ガ國有鐵道ノ一部トシテ運轉サレマシタ曉ニハ、輸送上會社トシテ分立シテ居リマスヨリモ、色々便宜ヲ得ルコトガ必ズアルノデアリマスカラ、ソレデ越後鐵道ノ現在ノ一日一哩ノ收入ハ、五十圓以上ニ會社トシテハナツテ居ルノデアリマス、ソレヲ旅客貨物ノ賃率ニ鐵道省ノ實績ヲ乘ケマス、先程申シマシタ通りニ半減シマスカラ、其結果一日一哩、詰リ二十五圓餘リニナルノデアリマス、然ルニドノ線ヲ見マシテモ、國有線トシテ一日一哩二十五圓ト云フヤウナノハ、極メテ山間僻地ノ支線ノ收入デアツテ、相當幹線ニ頭ヲ出シテ居ル線路ニ於キマシテハ、現在ハ四五十圓ノ收入ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ若シ越後鐵道ノ一日一哩ノ收入ヲ四十七圓トシテ、計算ヲ致シマス、營業收入ハ約百萬圓デアリマス、ソレニ對シテ五割五歩二厘ノ營業費ヲ差引マス、利廻ハ三歩三厘六毛ト斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ國有ニナリマシタ曉ニハ、先ヅ大體ニ於テ三歩内外ノ利益ヲ直グ舉ゲルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ見テ大差ナイト思フノデアリマス

○大團委員 詳細ナル數字上ノ御説明ニ依テ、大體諒解致シマシタガ、後段ノ將來ノ推測ノ中ニ、一哩四十七圓位ニナツタナラバ云々ト云フ説明ガアリマシタガ、成程サウ云フ風ニナルダラウト思ヒマス、併シ一面ニ於テ又營業費ガ累加スルト云フコトハ御認メニナルデアリマセウカ、過日豫算委員ノ分科會ニ於テ、政府委員佐竹君ノ御説明ヲ承ツテ居ッタ所ガ、將來國有鐵道ノ收入ニ對スル支出ノ割合ハ、或ハ増加スルト云フヤウナ御考ノヤウニ私ハ承知シテ居リマシタガ、其支出ノ中五割五歩ハ人件費デアツテ、四割五歩ハ物件費デアルガ、將來物價ノ昂騰ト比例シテ、尙ホ人件費ノ増加ト云フモノハ免レヌデアラウ、或ハ給料ヲ上ゲルトカ、或ハ賞與ヲ良クスルトカ云フヤウナ關係カラ、人件費ノ増加ト云フコトハ、是ハ免レヌ傾向デアラウカラ、國有鐵道ニ於テ將來果シテ此給與支出ノ割合ガ現在ノ通りニ推移スルモノトハ斷定スルコトハ出來ナイト云フヤウナ、御説明ガアツタヤウニ記憶シテ居リマス、此點ニ付テ簡單デ宜シウゴザイマスカラ、佐竹政府委員ノ御説明ヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○佐竹政府委員 大體ノ趨勢ハ事業費ノ割合ト云フモノハ、漸次殖エル傾向ガアルト申シテ宜イト思フノデアリマス、殊ニ外國ノ鐵道ナドニ見マスルト、先ヅ七割以下ノ割合ハ殆ドナイノデアリマス、大抵七割乃至八割位ノ程度ニナツテ居ルノデアリマシテ、大體ニ於キマシテハ、幾分殖殖エテ行クモノト考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマ

ス、併シ之ニ付キマシテハドウ云フコトガ最も多ク影響スルカト申シマス、今回ノ豫算ニ付テモ同様デアリマスルガ、豫算ノ上ニ於キマシテハ、收支ノ割合ヲ五割五分トカ、或ハ五割六分ト云フ風ニ決メマシテモ、ソレガ實績ニ於テドウナルカト申シマス、少シ景氣ガ好クナリマシテ、收入ガ豫定以上ニ上リマス、決算カラ申セバソレガズット下ルデアリマス、詰リソレダケ節約シテ、サウシテ輸送ニ努力シタ結果デアリマスルガ、ソレデアリマスカラシテ、豫算ノ通りノ割合ト云フモノハ、實際ニ於テ多少ノ異動ハアルノデアリマス、ソレカラ又過去數年間ノ成績ヲ見マシテモ、是ハ御手許ニ差上ゲテアルノデアリマスガ、大正九年ノ時ノ收支ノ割合ハ七割四厘、然ルニ其翌年ノ十年ニ於キマシテハ、五割七分二厘、十一年ニ於キマシテハ五割六分二厘、十二年ニ於キマシテハ六割四分二厘、十三年ニ於キマシテハ五割七分九厘、十四年ニ於キマシテハ五割五分三厘、斯ウ云フ風ニ必シモ數ハ遞増スルト云フコトニハナツテ居リマセヌケレドモ、併シ是ハ今申上ゲタ通りニ其豫算ハ凡ソ五割五分、五割六分ト云フコトヲ組ムノデアリマスケレドモ、世ノ中ノ不景氣ノ爲ニ豫定ノ收入ヲ得ラレヌ時ニハ、ソレガ五割八分ナリ或ハ五割九分ニ上ルノデアリマシテ、豫定以上ノ收入ガアリマシタ時ニハ、其反對

ノ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、年々某ガ一定ノ率ニ依テ遞増スルト云フコトハ申上ゲ兼ルノデアリマスケレドモ、大體ノ機運ヲ考ヘテ見マスケレバ、労働者ノ待遇等ニ付テノ豫算ヲ、年々増加シマシテ、ソレガ爲ニ鐵道ガ色々ノ負擔ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ免レザルコトト思フノデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、此割合ハ幾分カ宛殖エテ行クモノト、考ヘルノガ至當デアラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○大園委員 將來政府ハ新瀉港ニ付テ臨港線ヲ敷設ニナル計畫ガアリマスカ、即チ信濃川ノ修築工事ノ完成ト、新瀉港ノ竣工等ヲ機會トシテ、將來ニ於テ臨港鐵道デモ御敷キニナルヤウナ御考ガアリマスカ

○井上國務大臣 鐵道省ト致シマシテハ、單ニ新瀉港ト云ハズ、總テノ港灣ニ對シマシテ水陸聯絡設備ヲ完成致シマスコトハ、鐵道ノ使命ヲ完成スル上ニ於テ最も必要ナ事ト考ヘテ居リマス、新瀉港ノ實際臨港線ト云フモノガ、ドウ云フ形デアリマスカ、私ハ地形其他ニ付テハ詳細ノコトヲ茲ニ承知致シマセヌ、主義ト致シマシテ鐵道省ハ他ノ港灣ニ於ケルト同様ニ、新瀉港ニ對シテモ水陸聯絡ノ設備ハ出來ルダケ完成シタイ考ヲ持ッテ居リマス

○工藤(十)委員長代理 大園君宜シウゴザイマスカ

○大園委員 宜シウゴザイマス

ハ疑ナイ問題デアリマス、鐵道デアリマシテモ、ドンナ地方デアラウトモ、鐵道ノ敷設ガ有ルノト無イノト何方ガ宜イカ、無イ所ニ鐵道ヲ敷設スルト云フコトガ其地方ナリノ便利ニ付テドウ云フモノデアアルカ、斯ウ云フ絶對論ヲ致シマスレバ、無論有ハ無ニ優ル、斯ウ云フコトハ疑ナイ問題カト自分ハ豫テ考ヘテ居リマス、唯、斯ル問題ニ付テハ、常ニ吾々ガ審議シ研究シナケレバナラヌト思フ點ハ、此十分ナラザル國費ヲ費シテ人文ノ發達ニ貢獻スルト云フ文化ノ施設ヲ爲スト云フ場合ニ於テハ、成ベク效果ノ多イモノ、成ベク必要ノ迫ッテ居ルモノカラ先ニヤッテ行クト云フ、此投ズル所ノ經費ニ對シテ得ル所ノ結果ガ厚キヤ薄キヤト云フコト、即チ前後緩急、是ガ常ニ吾々ノ審議スベキ問題トシテ殘ルコトデアルト私共ハ考ヘテ居リマス、ソレデ此鐵道敷設法中ノ改正法案トシテ今度御提出ニナツテ居ル所ノ件ニ付キマシテモ、又鐵道買収法ノ件ニ付キマシテモ、前ニ豫算審議ノ際ニ其邊ノ所モ一應政府ノ御調査ヲ、伺ッテ見タイト云フ考ヲ持ッテ居リマシタガ、恰モ敷設法ノ改正法案モ提出サレ、買収ニ關スル法案モ提出サレテ、法ノ特別委員會ガ開カレルト云フコトヲ承知シテ居リマシタガ故ニ、豫算委員會ニ於テハ其邊ハ御遠慮申シテ承ラズニ置イタ、ソコデ今日尙ホ念ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○工藤(十)委員長代理 ソレデハ若宮君

○若宮委員 豫メ委員長ニ御願シテ置キマスガ、私ハ御承知ノ通り後カラ委員ニ加リマシタガ故ニ、色々ナコトヲ重複シテ御伺スルヤウデアリマス、大變時間ヲ妨害スルコトニナリマシテ恐縮ニ存ジマスカラ、一應念ノ爲ニ今マデ配付ヲ受ケマシタ速記録ハ見タノデアリマスケレドモ、見タト申シテモ丁寧ノ見方ヲシテ居ラヌノデ、私ノ過失ガアルカモ知レヌ、又一回ダケハ配付ヲ受ケヌコトガアルト思ヒマスカラ、其點ニ付テ若シモ私ノ御尋ネスルコトニ付テ既ニ政府當局カラ十分ナル御説明ガアリ、又ハ同僚諸君ガ御分リニナツテ居ルヤウナコトデアリマシタナラバ、御注意ヲ願ヒタイ、私直ニ中止ヲ致シマス、此段豫メ念ノ爲ニ御願シテ置キマス

○若宮委員 概論トシテ一寸聽イテ置キタイト思フノデスガ、此交通機關ニ關シマス事、外ニモ類似ノ事ハ幾ラモアルト思ヒマスガ、殊ニ交通トカ通信トカ云フヤウナ機關ノ設備ニ付テハ、サウ云フ設備ノ有ルコトガ無イヨリモ宜シイカドウカ、斯ウ云フコトニナレバ、殆ド疑モナク如何ナル場合ニ於テモ設備ノ有ル方ガ宜イト云フコトハ是

○工藤(十)委員長代理 宜シウゴザイマス

○若宮委員 概論トシテ一寸聽イテ置キタイト思フノデスガ、此交通機關ニ關シマス事、外ニモ類似ノ事ハ幾ラモアルト思ヒマスガ、殊ニ交通トカ通信トカ云フヤウナ機關ノ設備ニ付テハ、サウ云フ設備ノ有ルコトガ無イヨリモ宜シイカドウカ、斯ウ云フコトニナレバ、殆ド疑モナク如何ナル場合ニ於テモ設備ノ有ル方ガ宜イト云フコトハ是

○工藤(十)委員長代理 宜シウゴザイマス

ノハ、此敷設法ニ付テ言フテ見マシテモ、恐クハ各地方カラシテ敷設法ノ別表ノ中ニ加ヘテ貫ヒタイ、即チ豫定線トシテ鐵道網中ニ加ヘテ貫ヒタイト云フ請願ナリ或ハ建議ナリトシテ、地方カラ希望シ申出ノアッタ所ノ線路モ相當澤山アルコトト考ヘマス、又假令請願ナリ建議ナリ等ガアリマセヌデモ、政府當局ニ於テ斯ウ云フ地方ニハ鐵道ヲ敷設スルコトハ將來ハ必要デアラウ、斯ウ云フ考デ調査ヲシテ居ラレル所ノ線モ相當ニアルヤウニ私共ハ推察ヲ致シテ居ル、サウスルトソレ等ノ澤山在ル所ノ線路ノ中カラ、今回此六線ヲ選ンデ出サレタト云フコトニ付テハ、是ハ餘程特ニ急イデ出サナケレバナラヌト云フ、政府側ニ於テハ特殊ノ御調ガアラナケレバナラヌト信ズルノデアリマス、先般豫算審議ノ際ニ私デハアリマセヌガ同僚ノ一人カラシテ、只今ノヤウナ意味ノ質問ガアッタニ對シマシテ、政府當局カラシテ、貴衆兩院ニ請願等ガ出テ居ル所ノ線路ノ表ハ私共ニ示サレテ此處ニ持ッテ居ルノデアリマスガ、此表ヲ拜見シマシテモ唯々請願ガアル、ソレガ採擇ニナッタト云フコトニ付テ印ガ付ケテアルト云フダケデアリマシテ、此表ヲ拜見シタダケデハ今私共ガ申上ゲルヤウニ、何ガ故ニ此六ツノ線路ヲ優先的ニ多クノ中カラ選バレタカト云フコトノ確ナル理由ガ、私共ニハ諒解ガ出來ナイノデアリ

マス、此點ニ付テ既ニ質疑應答ガ済ムデ居リマスレバ速記録ノドノ部分ダト云フコトヲ御指摘ヲ願ヒタシ、又アリマセネバ願クハ簡單明瞭ニ能ク分ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣 敷設法ノ別表ニアリマス所謂豫定線、其他貴衆兩院ニ於ケル請願ニ係ル諸線ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテハ勿論是等ニ付テ出來ルダケノ調査ヲ進メテ居リマスコトハ當然ナコトデアリマス、豫算總會デアリマシタカ若宮君カラ御同様ノ意味ノ御質問モアッタト記憶致シマスガ、不幸ニシテ鐵道省ハ從來永年ニ互ッテ調査致シマシタ資料ハ震災ノ爲ニ燒失致シマシタ、其後ニ於キマシテ御協賛ヲ得テ居ル調査費ヲ以テ調査ヲ繼續シテ居ル次第デアリマスガ、其調査ニ掛リマシタ線路ノ大體ノ經濟調査ノ結果ハ、既ニ書類ヲ以テ御示シ申シテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、鐵道省ハ是等ノ調査ノ中カラ考慮致シマシテ、差當リ最モ必要ト考ヘマス所ノ今回ノ敷設法ノ改正及今回ノ新線ノ計畫ヲ致シタコトハ、モウ既ニ御説明申上ゲタコトト考ヘルノデアリマス、或ハ將來未ダ調査未済ノモノノ中ニ必要ナモノガ絶對ニナイト云フコトハ申上兼ルト思ヒマスガ、少クトモ現在調査ヲ完了致シマシタ範圍ニ於キマシテハ、今回提案致シマシタモノハ必要ナモノト政府ハ考慮シテ提案致シテ居ル次第デアリ

マス

○若宮委員 只今ノ鐵道大臣ノ御話ノ中ニ、私ガ豫算委員會デ御尋ネヲ致シマシタノハ、今度ノ豫算ニ——建設豫算中ニ計上セラレマシタ十七線ノコトニ付テ御尋ネヲシタ趣意デアッタノデアリマス、只今ノ御答ニ依リマス、此鐵道敷設法別表ノ中ニ從來定メテナイ線路ニ付テ、此處ニ御示シニナッタ調査表ノ中ニ含ンデ居ルト云フ御趣意デスカ、其點ガ一寸ハッキリ致シマセヌ

○井上國務大臣 豫算總會デ若宮君カラノ御尋ネノ線ハ、新線ニ付テノ御尋ネデアッタト考ヘマス、ソレニ付テハ既ニ調査表ヲ差上ゲマシテ、幸ニ御協賛ヲ得テ次第デアリマス、今回敷設法ノ改正ニ付テ提案致シマシタモノハ、政府ニ於テ其後從來ノ敷設法ニ決定セラレテ居リマスル線路以外ニ付テノ必要ナルモノヲ考慮致シマシテ、其中デ差當リ斯ウ云フモノガ必要デアルト云フ考カラ、今回ノ敷設法ノ必要ノ新線ヲ提案致シマシタ次第デアリマス

○若宮委員 繰返シテ御尋ネスルヤウデスカ、サウ致シマス、曩ニ豫算委員トシテ頂戴ヲシタ調査以外ト云フコトニ承知シテ宜シイノデスカ

○井上國務大臣 左様デス

○若宮委員 斯様ナコトヲ私ガ御尋ネヲ致ス趣意ハ、既ニ敷設法ノ中ニ定メテアル此百數十線ト云フ線路ガアリマシテ、其線路ニ關係ノアル地方民ハ非

常ニ早く建設セララルコトヲ待ッテ居ル實狀ニアル、其處ヘ更ニ敷設法ノ別表ニ新シイ線路ヲ加ヘラレル、斯ウ云フコトハ、ドウカ致スト今迄デサヘモ既ニ建設ニ著手シテ貫ヘナイノデ、其一日モ早イコトヲ希望シテ居ル所ノ地方民カラ云ヒマス、更ニサウ云フモノヲ増加スルト云フコトニナラノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此敷設法ニ増加ヲセラレ、變更ヲセラレト云フコトハ、從來敷設法ニ定メテアル所ノ線路ノ關係地方カラ云ヒマスルト云フト、是ハ比較的各自ノ線路ノ將來ノ運命ニ付テ、深キ利害關係ヲ感ゼザルヲ得ヌト云フ感ジヲ持ッ、ソレカラ次ニ從來敷設法ニ定メテナイ地方、此地方カラ云ヒマスルト云フト、何ガ故ニ自分等ノ方ハ敷設法中ニ採用セラルルコトガ出來ナイデ、他ノ地方ノ六線ノミ此際ニ於テ採用セラルルカト云フコトニ付テハ、是亦相當地方的ニ深イ利害關係ヲ持ッ次第デアリマスルカラ、ソコデ吾々斯ウ云フ案ヲ審査スル立場ニアル者カラ云ヒマシテモ、國民ニ對シテハ、是ハ是ノ理由ニ依テ、先以テ此六線路ヲ選バナケレバナラヌト云フ必要ガ茲ニ迫ッテ居ルト云フコトヲ吾々ガ満足ヲシ、且又國民ニ之ヲ示サナケレバナラヌ、又申ス迄モナク政府當局ニ於テモ、今ト同ジ趣意ニ於テ此六線路ハ選バレタ、即チ優先的ニ選バレタト云フコトニ付テハ、的確ナ

ル理由ガアルノダ、差迫タル所ノ必要
ガアルノダト云フコトヲ國民ニ御示シ
ニナルト云フノガ、是ガ政治トシテハ
相當ノ方法デアルト云フコトヲ感ジマ
スルガ故ニ、此質問ヲスル譯デアリマ
ス、既ニ同僚ノ質疑ニ對シテ、又質疑ナ
クトモ政府當局カラ如才ナク御説明ガ
アツタコトトハ思ヒマスガ、速記録ノ中
ニ私ノ見タ所デハ、今申スヤウナ趣意
ニ對スル政府ノ説明ガ十分デナカリシ
ガ如ク感ジマシタガ故ニ、今日此質問
ヲスルノデアリマス、若シ政府當局デ
何ガ故ニ之ヲ此際急イデヤラナケレバ
ナラヌカ、何ガ故ニ多クノ線路ノ中カ
ラ此線路ダケヲ選ンダカ、之ニ付テ御
説明ヲ得レバ各々ハ非常ニ便宜ダト思
ヒマス

○佐竹政府委員 只今御尋ネノ點ニ付
キマシテハ、前ニ一應申上ゲテアツタ
思ヒマスガ、尙ホ御答ヲ致シマス、第一
ノ點ハ豫定線ニ百四十九線ヲ選ビマシ
タ時ニ、此調べハ大正五年マデノ線路
調査ノ調べニ依テ選擇致シタノデアリ
マス、ソレデアリマスカラ大正六年以
降更ニ調査ヲ繼續致シテ居リマスルシ、
ソレカラ又此線ガ決マリマシタ後ニ於
テモ請願、建議案等ノ形デ地方民ノ御
希望ノ線ガ澤山出テ參ッテ居ルノデア
リマス、ソレデ是等ノ線路ノ中カラシ
テ調査ノ出來マシタ分、サウシテソレ
ヲ必要ト認メタ分ヲ今回追加計上スル
コトニナツタノデアリマス、ソレデ先程

御述べニナリマシタ詰リ一旦法律ニ
決ツタ以上ハ、此線ニ付テ國民ガ或期待
ヲ持ッテ居ル、其線ガ未ダ半バニモ達シ
ナイ時ニ、詰リ全部完成ヲシナイ時ニ
更ニ追加スルコトニナレバ、是ト同等
ノ値打ノモノガ殖エルノデアルカラ、
ソレダケ國民ノ期待ガ少クナル、丁度
既得ノ利益ヲ害サレルヤウナ風ニ考ヘ
ルト云フヤウナ御心配ノ點ガアツタノ
デアリマスガ、其點ニ付キマシテハ此
敷設法ヲ審査サレマシタ大正十一年ノ
議會ニ於テモ、政府當局カラハッキリ申
上ゲテアツタト思ッテ居リマス、詰リ是
ハ完全無缺ノモノデナイ、今後更ニ追
加ヲ要スルモノモアルシ、或ハ又地方
ノ經濟上ノ變化ニ依テ修正ヲ必要トス
ルモノモ起ッテ來ルカモ知レナイ、從テ
之ヲ全部ヤッタ後ニアラザレバ新シイ
線ハ一ツモ入レナイト云フコトハ、其
當時カラハッキリ其點ヲ委員會デ説明
モシテアツタノデアリマス、デアリマス
カラ若宮君ノ御不審ノ、詰リ是ガ全部
完成シタ後ニアラザレバ一本モ追加ス
ルコトガ出來ナイト云フ、サウ云フ約
束ノ下ニ出來タ豫定線デハナイノデア
リマスカラ、其點ハ若シサウ云フ風ニ
考ヘテ居ル御方ガアレバ、私ハ其當時
ノ委員會ノ速記ニ依テ御説明ヲ申上ゲ
テモ宜イト思フノデアリマス、ソレカ
ラ又事柄自體トシテ考ヘマシテモ、此
法律ガ出來マシタ後ニ、地方ノ經濟關
係ト云フモノハ年々變ッテ參ルノデア

リマスカラ、何處マデモ此法律ニ依テ
拘束サレルト云フコトハ、是ハ條理ノ
上カラ考ヘマシテモ穩當デナイト考
ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フヤ
ウナ點カラ見マシテ第一ノ御疑ノ點
ハ、必シモ是ガ絕對有limitsノモノデハ
ナイ、將來追加モサレルシ或ハ變更
サルト云フコトモ豫期ノ下ニ出來タ
モノデアアル、斯ウ云フ風ニ思フノデア
リマス、ソレカラ第二ハ然ラバ追加シ
タノハ此處ニ舉ッテ居ル線路ト同等以
上ノ値打ノモノデアアルカドウカ、ソレ
カラ又請願、或ハ建議案ニ依テ地方ノ
意思ガ議會ニ認メラレテ、其認メラレ
タ線ガ澤山アル、其中ドウシテ六線ダ
ケガ優先權ノナモノデアアルカ、他ノモ
ノハソレニ劣ルノデアアルカドウカト云
フ御質問ニ對シマシテハ、今回追加ヲ
シマスモノハ、此豫定線ト同等以上ノ
値打ガアリ、同等以上必要ノアルモノ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ各
線別ニ付テ其關係ヲ申上ゲナケレバ分
ラヌノデアリマスガ、大體サウ云フ風
ニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ他ノ線
ニ先立ッテ今回、六線ダケヲドウシテ計
上シタカ、斯ウ云フ質問ニ對シテハ、是
ハ必シモ他ノ線ヨリモ、六線ダケガ優
秀デアアル、他ノモノハ皆之ニ劣ッテ居ル
ト云フコトヲ、只今算定シテ出シタ譯
デハナイノデアリマス、ソレナラバト
ウ云フ譯デ出シタカト云フト、只今マ
デ調査ノ出來マシタ分、サウシテ其中

デ必要ノモノヲ出シタノデアリマスカ
ラ、マダ調査未済デアツテ、調査結果ハ
今回出シマシタモノト同等以上ノモノ
ガアルカモ分リマセヌ、恐ラクアルダ
ラウト思ッテ居リマス、デアリマスカ
ラ、ソレ等ハ他日ノ機會ニ於キマシテ、
豫定線トシテ追加サレ、此鐵道網ノ完
成ヲ圖ルト云フコトハ、當然ナコトト
考ヘテ居リマス、ソレカラ又現在定ッテ
居ル百四十九線ノモノガ、然ラバ此儘
ニシテ置イテ宜イノカ、ト云フ御尋ネ
デアレバ、此中六線路ノ經過地ヲ變
ヘナケレバナラヌト認メラレルモノモ
アリマスシ、或ハ起點、終點ニ多少ノ變
更ヲ加ヘル必要アルモノガアルケレド
モ、ソレハマダ調査ガ完了致シマセヌ
カラ、調査ノ濟ミ次第是等ノ修正ニ付
キマシテモ漸次議會ノ御協賛ヲ經ナケ
レバナラヌ、併ナガラ之ヲ根本的ニ此
際變ヘルト云フ者ノ無イコトハ前ニモ
申上ゲマシタ通り、大體ニ於テ大切ナ
モノト考ヘテ居テ、併シ實行スルニ付
テ幾分此中修正スルモノモアリ、又此
外ニ新タニ加フベキモノガ相當ニア
ル、其相當アルモノノ中カラ調査ノ進
ミマシタモノデ、必要ノ程度ノ高イモ
ノヲ、今回選ビマシタノデアリマス、デ
アリマスカラ勢ヒ其點ニ付テノ御説明
ハ各線ニ付テ申上ゲナケレバナラヌコ
トニナリマス、一應御質問ノ趣旨ニ御
答ヲシマシテ、尙ホ各線ニ付テ御不審
ガアレバ申上ゲタイト思ヒマス

枚ニ互ル所ノ線路ガアル、此線路ノ中
デ六線ヲ撰バレルト云フコトニ付テ
ハ、何カ其處ニ他ノ線路ト比較シテ是
ガ優先シナケレバナラヌト云フ的確ナ
ル理由ガアラネバナラヌ、ソレヲ伺ヒ
タイ、斯ウ云フ私ノ趣意ナノデアリマ
ス、更ニソレニ付テ御辯明ガアリマス
カ、無ケレバ又ソレデモ宜シウゴザイ
マス

カラ——サウ云フ譯デアリマスルカラ
ソレダケヲ申上ゲテ置キマス、尙ホ是
ト同等或ハ以上ノモノガアルダラウト
思フノデスガ、ソレハ段々調査ヲ進メ
テ、サウシテ又他日ノ機會ニ於テ鐵道
當局ハ必ズ提案スルコトニナルダラウ
ト思ヒマス

○若宮委員 愈御説明ガ私ニハ分ラナ
クナリマシテ、漸ク斯ウ云フ點ダケ分
ツタノデアリマス、此處ニ出シテアル
線路ト云フモノハ政府ガ調査シタモノ
デアリマス、其調査シタモノハ良イト
思フタカラソレヲ出シタ、アトノ調べ
ガマダ未済デアルカラ、段々調べルニ
從テ是カラ必要アリト認メレバソレ
ハ追加シテ行ッテ、線路網ヲ完成スル積
リデアル、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ承ッ
タ、ソレ以上ハ是ハ議論ニ互リマシテ、
又他ノ同僚カラモ質問ガアルカモ知レ
マセヌカラソレニ讓ッテ、私ハ其點ハ一
應是デ打切マスガ、序ニ伺フノハ甚ダ
悪イガ、細カイ事ヲ一寸一言伺ッテ見タ
イノデアリマスガ、此追加線路ノ説明
書ト云フ印刷物ノ中ニ「新潟港カラ吞
吐スル貨物ハ逐年増加シ」云々ト云フ
記載ガアルノデアリマスガ、是ハ細カ
イ事ハ要リマセヌノデスガ、増加シテ
行ク主ナル荷物ハ——出ト入ノ其一二
ノ中心トナルベキ貨物ノ種類デ宜シウ
ゴザイマスガ、御知ラセテ願ヒマス

ラ……
○若宮委員 餘リ小サイ事ヲ伺フヤウ
デアリマスガ、喜々津、矢上間鐵道ト云
フ所ニ、矢上村ト云フ地名ガ掲ゲテア
リマスガ、此矢上村ト云フノハ線路圖
ノ中ノドノ邊ニナルノデスカ、長崎ト
喜々津トノ間ニナルノデスカ

○佐竹政府委員 ソレハ先程申シタコ
トト思ヒマスガ、詰リ是ダケノモノガ、
他ノモノ全部ニ優ッテ居ルト云フコト
ヲ申シタノデハナイ、此外ニモアルノ
デアリマス、私ハアルダラウト思フノ
デス、ケレドモソレハ段々調査ヲ進メ
テ行ッテ調査ガ完備シタ上ニ於テ、更ニ
優秀ナルモノヲ擇ンデ出スト云フ譯デ
アリマスカラ、詰リ是ダケハ調査ガ濟
ンデ、政府ノ方デハ、是ダケノモノガ優
秀ノモノト考ヘテ出シタノデアリマ
ス、從テ若シ他ノ方デ御不審ガアレバ

○若宮委員 只今若宮君ノ質問ニ關聯
シテ一寸御尋ネシテ置キタイ、ソレハ
政府當局ノ御説明ニ依レバ、鐵道省ニ
於テ從來新線ノ調査書類ハ震災ニ罹ッ
テ焼失シタ、且又其調査ハ十年前ノモ
ノデアッテ、今日經濟狀態モ餘程推移シ
テ居ルカラ、目下年々二十萬圓デアリ
マシタカ二十五萬圓デアリマシタカ、
金額ハ承知シテ居リマセヌガ、線路調
査費ヲ豫算ニ計上シテ銳意新線ノ調査
ニ從事シテ居ル、斯ウ云フ御説明デアッ
タト思ヒマスガ、凡ソ此調査ト云フモ
ノハ何年位ニ完了スル御見込デアリマ
スカ

○佐竹政府委員 大體ノ計畫トシマシ
テハ今後尙ホ四五年ノ間繼續シタイト
思ッテ居リマス

○佐竹政府委員 今御話ノハ一旦法律
トシテ定ッタモノデアルカラ、之ヲ時々
變更スルコトハ宜シクナイ、若シ變更
スルナラバ成タケ調査資料ヲ揃ヘテ後
ニ變更スルノガ至當デハナイカト云フ
ヤウナ御質問ト思フノデアリマス、ソ
レハ私モ御尤デアルト思フ、併ナガラ
調査ノ完成ヲ期スルト云フコトニ付
テ、凡ソ何時頃ニナッタナラバ其調査ガ
完成スルカト云ヘバ、只今ノ所デハ四
五年位今後繼續シテ全國ニ互ッテ調査
ヲ遂ゲル考デ居ルノデスガ、必ズ其時
マデ待タナケレバ之ニ一指ヲ染メルコ
トハ宜シクナイト云フ程窮窟ニ考ヘル
必要ハナイデアラウト思フ、例ヘテ云
ヘバ昨年ノ議會ノ下尻下諏訪ノ如ク、

此線ヨリモ此方ノ線ノ方が良イノ
デヤナイカ、何故此線ヲ落シテ調査シ
タノカト云フヤウナ意味ノ御質問ノヤ
ウニ心得マスケレドモ、サウ云フノデ
アリマスレバ御手許ニ差上ゲマシタ線
路ノ一ツ々々ニ付テ、此線ト此線トハ
ドウ云フ點ニ於テ優ッテ居ルトカ、或ハ
劣ッテ居ルトカ云フコトヲ申上ゲラレ
ナイカラ、或ハ御納得ガ行カヌノカモ
知レマセヌケレドモ、全部ガ調査ガ完
了シテ居ル譯デハナイノデアリマスル

○佐竹政府委員 今調ベマシテ申上ゲ
マスカラ、何カ他ノ質問ガアリマシタ

○大園委員 此處ガ若宮君ノ質問セン
トスル所デアラウト思フ、四五年ノ間
ニ互ッテ完全ナル調査ガ出來上ツタナラ
バ、其時ニ各線ニ付テ十分ナル比較ノ
材料モアルダラウカラ、其際ニ敷設法
ノ改正ヲ行ッたらドウダラウ、今日他
ノモノト比較スベキモノガ無いノニ、
唯六本ダケヲ出シテ置イテ、是ハ必要

ダカラ豫定線ニ計上スルノデアルト云
フヤウナ御説明デハ、他ニ比較スベキ
材料ガ無いカラ、果シテ是ガ妥當デア
ルカドウカト云フコトノ了解ニ苦ムノ
デアアル、殊ニ況ンヤ今度豫定線ニ計上
セントスル或ル線路ニ於テハ、現在既
設鐵道ガ敷設セラレテ居ルカラ、必ズ
之ニ付テハ買収問題ガ起ル、故ニ今
カラ昭和三年度若クハ四年、若クハ
五年度位カラ著手スルト云フ建設線路
ナラバ率知ラズ、何時著手スルノカ譯
ノ分ラヌ豫定線六本ヲ漫然トシテ計上
シ、敷設法ノ改正ヲ行ハントスルノハ
妥當デナイ、斯ウ云フ所ニ若宮君ノ質
問ノ根據ガアルト思フ、ソレニ付テ政
府當局ノ辯明ヲ求メテ置キタイ

モノハ官制ノ上ニモ現ハレテ居ッテ、何人モ是ハ國民トシテ明瞭デアラハナラヌ筋ノモノデアリマスガ、是ハ政府ノ諮詢機關デアリマス、政府ノ諮詢機關ノ審理ヲ經タルガ故ニ、立法院ニ於ケル所ノ立法權ヲ制限スルト云フガ如キ議論ハ、是ハ世ノ中ニ有ルベカラザル非立憲ノ議論デアルト確信スル、ノミナラズ吾々個人ノ態度ニ付テ御批評ニナルト云フコトデアレバ明ニ——鐵道會議ニ於テ吾々ハ當時審議スベキ所ノ多クノ時ヲ有シナカッタノデアアル、是ハ後ニ引續イテ此鐵道會議ノ實狀ヲ申上ゲレバ明瞭ニナルト思フガ、當時十分ノ時間ヲ持タナカッタ、ソレ故ニ此案ハ何レ議會ニ於テ審議セラルベキ所ノ案デアルガ故ニ、ソレマデ吾々ノ意見ハ留保スルト云フコトガ當時鐵道會議ニ於テ吾々ノ同土ヲ代表シテ言明シテ居ルノデアリマス、吾ガ立法院ニ於テ本案ヲ審議スル上ニ、十二分以上ニ十二分ノ審議ヲスルト云フコトニ、何等ノ拘束ヲ受ケナイト云フコトハ茲ニ私ハ言明致シテ置ク、而シテ當時鐵道會議ハドウ云フ日デアッタカ、是ハ私ハ國民ノ一人トシテ詳シク申上ゲルコトハ恐懼ニ堪ヘヌノデアリマスガ、時ハ十二月ノ二十四日デアリマシタ、確カ二十四日ト記憶致シテ居リマス、鐵道當局ニ於テモ兎ニ角此會議ハ今日中ニ終ッテ貰ヒタイト云フ特別ノ事情ヲ御打明ケテノ吾吾ニ對シテノ御内談ガアリマシタ、ソ

レアルガ故ニ吾々ハ審議ヲ盡サヌデモ鐵道會議ハ當日、即チ十二月ノ二十四日ト云フ御大切ノ日ニ、吾々鐵道當局ノ御内談ヲ快諾ヲ致シテ審議ヲ極メテ簡單ニ終ッテシマッタ、是ガ昨年十二月二十四日ニ開カレタ所ノ鐵道會議ノ實情デアアル、其實情ハ此席ニ於テ申上ゲル必要ハナカラウガ、其邊ガ大變誤解ガアルヤウデゴザイマスシ、又政府當局モソレハ此處デ打明ケテ御話シ惡イ事情モアルダラウト思フカラ、私ガ代ッテ申上ゲテ置ク、兎ニ角本論トシテ立法院ノ審議權ヲ政府ノ諮詢機關ノ爲ニ拘束サレルト云フコトハ絕對ニナイコトト私ハ確信致シマスカラ、此點ヲ申上ゲテ置キマス

○工藤(鐵)委員 若宮君ノ御話ノ中ニアリマシタガ、私ハ立法權ノ問題ニ付テハ述ベテ居ナイ、唯鐵道會議ニ於テ此案ハ諮詢機關ニ對シテ提案ノ際ニ、是等ノ事情ヲ明カニシタカドウカト云フコトヲ伺ッテ、一體鐵道會議ニ諮問スルト云フコトハ是ハ私ハ簡易ニシタイ、其爲ニ衆議院カラモ代表的人物ヲ出シテ居ルノデアルト思フ、是ハ立法權ノ制限ヲ受ケルコト云フ意味デアレ故ニ私ハ制限ヲ受ケルコト云フ意味デアリテ居ルノデハナイ、唯鐵道會議ニ於テモウ少シ國民ノ代表者トシテ這入ッテ居ル者ガアルノデアアルカラ、十分ナ審議ガアッタ答ダト、其點ニ對シテ如何デアアルカ、同ジ國家ノ機關デアアルカ

ラ、立法權ト行政權ノ補助スル、其性質ハ違ッテモ其意味デアアルノデアアッテ、十分ナル御議論ガアッタト云フコトニ付テ吾々ハ彼此レ言フノデハナイケレドモ、先ヅ鐵道會議ニ於テドレダケ審議ヲ經テ來タ案デアアルカト云フコトヲ聞クノデス、而シテ此案ガ鐵道會議ニ於テドウ云フ點マデ攻究サレテ、其必要ガ其他ノ線トノ比較ハドウナッテ居ルカト云フコトヲ伺ッテ過ギナイノデアアリマスカラ、若宮君ハ鐵道會議々員トシテハ十分ナ御職責ヲ果シテ居ルコトデセウ、餘リ果サレナカッタト云フコトハ、鐵道大臣ノ懇談ニ應ジテ好イ加減ニ旨判ヲ捺シタト云フコトハ、人ノ前デ言ハレタコトデナイ、若シ此案ガ其位大事デアアルナラバ、其時ニ鐵道大臣ヲ十分ヤツケテモ此案ノ審議ヲナサラナケレバナラス、ソレヲヤラスト云フコトデアアルナラバ、私ハ職責ヲ果シタト云フコトハ出來ナイ、安協ニ應ジタ、情實ニ囚ハレタト云フコトニ過ギナイ、故ニ立法院ガ審議スルコトニ付テ私ハ敢テ彼此レ言フノデハナイ、唯若宮君ノ御名前ヲ鐵道會議議員ニ發見シテ、此鐵道會議ハ此社會ノ「オーソリチー」ガ澤山居ラレルノデアアル、其處デ十分研究シテ、又此處デアアルト云フコトデアアルナラバ、是ハ面倒臭イカラ何トカ早ク片付ケタイト云フコトデアリマス、其點ヲ明ニシテ置キ

○隅田委員 私ハ若宮君ト同様此鐵道豫定線中ニ何ガ故ニ六線ダケ優先權ヲ與ヘタカト云フコトニ付テ質問ヲ致シタイト存ジテ居ッタノデアアリマスガ、ソレハ重複スルト思ヒマスカラ、其點ハ抜キマシテ、當委員會ヘ御提案ニナッテ居ル案デアリマセウガ、矢張買収ナリ敷設法ニ關係シタ事デアリマスカラ、此機會ニ此點ヲ御尋ネシテ置キタイト思フ點ガアルノデアアリマス、ソレハ此近畿地方ニ於ケル鐵道ノ件デアリマス、特ニ大阪ヨリ私共ノ郷里和歌山市ニ達スル鐵道運輸連絡ニ付テノ事デアリマス、和歌山大阪ノ連絡ニ付テ省線ト致シマシテハ、和歌山ヨリ東北ノ方ニ迂廻シテ王子ヲ經由シテ湊町ニ達スル所ノ省線ガアルノデアリマス、其延長ハ七十哩ト云フコトニナッテ居リマス、私線ト致シマシテハ和歌山ヨリ大阪市ノ難波ニ達スル南海鐵道ガアル、此延長哩數ハ四十哩デアリマス、省線ト私線ト各和歌山ヨリ大阪ニ達スル線路ト致シマシテ、哩數ヲ比較致シマスルト一ハ四十哩、一ハ七十哩、即チ省線ノ方ハ二倍長イ距離ヲ持ッテ居ルノデアリマス、サウ云フコトノ爲ニ旅客、殊ニ物資ノ連絡ニ付テハ、省線ノ方ガ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、而シテ和歌山市ヨリ三重縣相可ニ達スル、即チ紀勢線ガ段々工事モ進捗ヲ致シマシテ、昭和十年度頃迄ニハ必ず完成セラレルコトニナルデセウシ、殊ニ鐵道省ノ敷

サウ云フ御方針デ暫ク御進ミニナル御考デアルカ、左様トスレバ其理由ヲ概略承ツテ置キタイト思ヒマス

○佐竹政府委員 昨年通行税ガ廢止サレマシタ結果、其通行税廢止ノ實益ヲ失フ如キ結果ヲ生ズル賃銀ノ値上ハ一切許サナイ、又配當ヲ増ス爲ニ値上ヲスルトカ云フヤウナ意味ノ値上ハ勿論許サヌノデアリマス、丁度通行税ダケ値上ヲシテモ一般利用者ニハ從前ト負擔ガ變ラヌノデアリマスカラ、サウ云フ意味ニ於テ値上ヲ申請シテモ一切許サナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、併ナガラ只今御質問ノ中ニアリマシタ如クニ、會社ノ營業狀態ヲ以テシテハ十分ナル保存モ出來ナイ、保存出來ナイ、况ンヤ改良ノ如キハ勿論出來ナイト云フヤウナ鐵道デアリマ

スレバ、其鐵道ノ實情ヲ能ク調べマシテ、相當程度ノ賃銀値上ハ已ムヲ得ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ其限界ト云フモノハ中ミムツカシイノデアリマシテ、世間カラ見マサルト、矢張通行税廢止ガアッタニ拘ラズ、又直グソレニ代ル値上ヲシタト云フ風ナ誤解ヲ受ケル虞モアルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ餘程能ク調査ヲ致サンケレバ、大體ニ於テ値上ヲ認メナイト云フ方針ニナツテ居ルノデアリマス、併シ能ク事情ガ分リマシテ、會社ノ實情ガ經營上トウシテモ相當程度ノ賃銀ヲ増サナケレバナラヌト

云フヤウナモノデアリマスカラ、決シテ之ヲ許サナイト云フ考ハナイノデアリマス

○若宮委員 私有保シテ置イタノデアリマスガ、極ク簡單ナコトデスガ、餘リ留保シテ後デ皆サン御困リヂヤナイカト思ヒマスノデ今ヤリマセウカ、次回ヘ延シマスカ

○工藤(十)委員長代理 御ヤリ下サイ
○若宮委員 買收ノ方デ極メテ簡單ナコトヲ伺フノデスガ、水戸鐵道、越後鐵道、陸奥鐵道、ソレカラ苦小牧日高トアリマスガ、政府ガ運轉ヲ既ニヤツテ御居デニナル線路ガアルノデアリマスカ、ナイノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ
○佐竹政府委員 水戸鐵道ト陸奥鐵道ニハ直接運轉ヲ致シテ居ルノデアリマスカ
○若宮委員 越後鐵道ハ鐵道省ノ方デハ運轉ノ方ハ關係シテ居ラレナイノデスカ
○佐竹政府委員 越後鐵道ハ全ク此方ノ列車ハ這入ッテ居リマセヌ
○若宮委員 ソレカラ越後鐵道ヲ急イデ——急イデト云フノハ即チ昭和二年度ニ於テ買收サレナケレバナラヌト云フ何カ特別ナ理由ガアリマスカ、ソレヲ簡單ニ伺ヒタイ
○井上國務大臣 越後鐵道買收ノ趣旨ハ既ニ屢申上ゲタノデアリマスカ、

詰リ鐵道國有ノ趣旨ニ基イテ重要ナル鐵道ハ順次之ヲ國ノ所有ニシテ行クト云フ理由ニ依テ、來年度ニ於テ之ヲ買收シヤウト云フノデアリマス

○若宮委員 サウ致シマス工事ノ都合トカ、若クハ連絡スベキ鐵道ノ建設ノ年度割ト云フヤウナ方ノ理由カラシテ昭和二年度ニ買上ゲラレナケレバナラヌノデスカ

○井上國務大臣 越後鐵道ハ其地域ニ於テ必要ナル鐵道ト認メマスノデ、一日モ早ク之ヲ國有ニシテ、幹線ノ裏日本縱貫線ノ完壁ヲ期スルト云フ點カラ、一日モ早ク之ヲ買收スル必要ヲ認メテ居ルノデアリマス
○若宮委員 分ッチャウデアリマスカ、尙ホ念ノ爲ニ別ナ言葉デ伺ヒマスカ、サウスルト此越後鐵道ヲ昭和二年度ニ買收サレヤウト云フ趣旨ハ、連絡ノ關係ト云フコトガ主ナル理由デハナクテ、此鐵道ソレ自體ヲ早く國有鐵道ニシタイト云フ理由ニ主トシテ出發シタモノト伺ッテ宜イノデアリマスカ
○井上國務大臣 連絡ノ必要上幹線ノ一部トシテ之ヲ使用スルト云フコトニ買收ノ曉デハ歸スル譯デアリマス
○若宮委員 連絡ノ必要上ト仰シヤルト、何處ノ連絡デアリマスカ
○井上國務大臣 新潟市ヲ中心ト致シタ北陸ノ連絡ハ此線ヲ幹線ト致スダラウト考ヘマス
○若宮委員 分リマシタ

○堤委員 極ク簡單デスガ一事伺ッテ置キマス、越後鐵道ノ改良費ニ於テ停車場其他二十萬四千圓、橋梁ニ於テ六十八萬三千圓ト云フ政府ノ説明デゴザイマシタガ、只今若宮君ノ御質問ノ如ク、私ハ此鐵道ヲ完成致シマスニハ相當完成スベキ準備期間ノ掛カルモノノヤウニ聞イテ居リマス、之ヲ買收シマシタ曉ニハ、政府ハ政府ノ必要ナル狀態ニ此鐵道線路ヲ完全ニ致シマスカラ、ハ、ドレ程ノ期間ヲ要シマスルデゴザイマセウカ、此點ヲ御伺致シマス

○佐竹政府委員 只今御尋ネノ點ハ是ダケノ工事ヲ完成スルノニハ凡ソドレ位ノ歲月ヲ要スルカト云フ御尋ネデゴザイマスカ、橋梁ノ工事が一番重イノデゴザイマス、停車場ノ工事は割合ニ簡單ナルモノデアアルノデアリマス、凡ソ二年カ三年ノ中ニ改良工事が完成出來ルト考ヘテ居リマス、若宮君ノ御尋ネノ新潟等ニ於ケル物資ノ移出入ノ増加ノコトヲ申上ゲルト、大正十三年度ニ於キマスル移入ノ數量ガ五十四萬噸、ソレカラ大正十五年ノ今マデノ數量ニ依リマスルト七十萬五千噸デアリスカラ、其差ガ十七萬五千噸デゴザイマシテ、三割ノ増加ニナツテ居リマス、ソレカラ移入ノ物資ノ主ナル物ハ米ガ五千八百六十五噸、鹽ガ一萬七千五百二十四噸、石炭ガ十四萬二千六百二十二噸、セメントガ一萬百十噸、木材ガ十二萬一千五百八十九噸、斯ウ云フ譯

デアリマスカラ石炭ト木材ガ一番主ナ

ル移入ノ貨物デゴザイマス、ソレカラ

出マスル物ハ米ガ二萬三千四百四噸、

果物ガ三千四百九十五噸、石油類ガ二

萬八千九百九十三噸、菓子製品ガ六千八百

五十八噸、斯ウ云フ譯デアリマシテ這

入ル貨物ノ方ガ多イ、移出ノ合計ハ十

一萬六千二百九十噸デゴザイマシテ、

極ク僅デアリマス

○若宮委員 今ノ移出移入ハ内外貿易

共ニ含ンデ居ルト思ヒマスルガ、内地

ト外國貿易トヲ分類シタ調ベヲ持ッテ

御在デスカ

○佐竹政府委員 外國貿易ノ數字ハ能

ク調バツテ居リマセヌ

○若宮委員 今移入貨物ノ主ナル物ト

云ハレテ擧ゲラレマシタ石炭ハ、私ノ

考デハ概ネ鐵道ノ自分デ使ハレル石炭

ノヤウニ思ハレルノデアリマスルガ、

如何デアリマスカ

○佐竹政府委員 其點ハ能ク調ベマシ

テ、マタ他日申上ゲマス

○若宮委員 願クバ「セメント」モ鐵道

ニ御使ヒニナルノガ主ナル物デハナイ

カト思ヒマスカラ、一緒ニ願ヒタイ、ソ

レカラ木材ノコトガアリマシタガ、是

モ年々續イテアルモノデ、既往ニ於ケ

ル物デアリマスヤ否ヤ、將來ニ於テノ

御見込ハドウデアルカ、是モ鐵道當局

トシテハ大變大事ナ貨物デアリマスカ

ラ、能ク御調査ガ届イテ居リヤセンカ

ト思ヒマスカラ、ソレモ同時ニ御願ヒ

致シマス

○工藤(十)委員長代理 是デ質問ハ打

切リマシテ、次回ハ討論ニ入りマス、次

回ノ日時ハ公報ヲ以テ通知致シマス

午後零時二十五分散會